京城新報

●陰曆　五月廿一日

發行兼編輯人　秋山忠三郎
發行所　京城新報社　電話六六三番

追想す花房公使(三)

翠山生

▲花房公使には此の急激の變亂に愕然として驚き、身裝もソコ〱其の部下の書記官近藤眞鋤、歩兵大尉水野勝毅等外二十八名のものを從へ雨霰と降り來る彈丸の下を潜り拔けてヤットの事市街に出で兎も角も王闕に向はうとしたが南大門堅く鎖して入るを得ず、依て已むなく踵を回へして揚華鎭に至りソレより更らに勇を皷し行路十里の難を辛うじて仁川に着いたが幸ひ仁川府使鄭志鎔が厚く公使を犒ひ其の堂屋を以て公使の休息所に充てゝ與れた、公使の一行もマヅ此れにてホット一息ついたが昨夜からの疲勞が非常で五体は恰かも綿のやう、氣息奄々人間の生氣とては更らになかつた、▲此の日一天暗澹として掻き曇り加ふるに沛然たる大雨は恰かも盆を覆へすやう、天も何となく此の騷亂を吊ふかの如くである……公使には暫時淋漓たる汗を拭ひ、涼を納れて居ると頓て堂屋の後に當つて殷々の響聲々の響が今を盛りと降りしきる雨絲を突いて聞ふると間もなく喊聲一時に起るや堂屋も爲めに震撼せんとする有樣である仍つて公使一行には又々不意の來襲に膽を冷やしたが最早所詮免れぬ運命と最後の覺悟を極め一同稍を揃つて雄々しくも爰に戰端を開いた、されど多勢に無勢衆寡固より敵する能はずである、終に我は敗北したが其の際無殘にも公使附武官礒林、水野の兩大尉及び巡査數名はあたら名もなき彼等暴民の爲めに敢へなき最後を遂げたのである▲サテ此の時公使には單身敵の重圍を突き一條の血路を切り開いて辛ふじて逃げ落ちたが賊は公使を目蒐けては逃げ行く後より巨大なる銃砲を發射し飽迄も公使を殪さずば已まぬ模樣である而して斯く身を以て逃げ行く公使は今の彈丸に討たれはせすや、這ん度の一發に殪されはせすやと胸には南無阿彌陀佛を唱へつゝ生死を賭して漸く海岸迄落ち延びたが幸ひソコに一隻の漁船が繋いであつたので之れ幸ひと其の漁船に乘り込み手づから櫓を押して沖へ〱と向つたが其の時又折好くも遙か彼方の沖合に當つて巨大なる一隻の船が碇泊して居つたのを認めたから神の助けと早速其の船に漕ぎ付け事情を具して救を求め一先づ故國長崎へと赴き漸く此の變亂の渦中を脫したのである、公使を助けた船は世人も熟知の通り彼の英國の測量船飛魚號であつた、

▲天か命かは知らねども兎も角暴民の虎口を免れた公使は長崎へ着いてから早速國王に向つて有りし變亂の顛末を陳述し、一方又同文司觀察使に宛て我が軍人及び巡査の之が爲め難に殉せしものゝ死骸を埋葬せしむべく依囑し且つ將來の處分方策に就き時の政府に諮つた、而して此の騷亂の警報が東京に達せしは丁度七月三十日である、所で韓國が此の亡狀極まる行爲を敢てなせし報知を耳にした我が政府は非常に立腹したが事固より韓國王の關する所でなく單に韓宮中に於ける異派の不和紛擾が醱酵して其の爰に至つたものであるから之が處分方法に就ては餘程愼重の態度を取つたが硬頑一片のものは斷乎として征韓論を主張するものもあつた依つて政府部內は和戰兩派の議論喧々として沸騰し甲論乙駁一時は歸一する所を知らなかつたが結局最初の手段として一と先づ談判を試むることに決し時の外務卿井上馨氏命を帶びて馬關に出張し爰に花房公使と逢つたのである、

●子月中の京城商況(二)

京城日本人商業會議所

△味噌醤油　前月に引續き益々好況にして殊に軍隊の增派に伴ひ味噌の如きは頓に需用增加し各店共一時拂底の有樣なりき相場は前月に比し變動なし

△牛皮、牛骨　本品は著しく相場下落の爲め自然地方よりの出廻り減少し又母國相場は引續き下落の有樣にて各店共手扣勝にて活氣なく從て當地相場の如きも前月に比し牛皮百斤に付二三圓牛骨同二三十錢方の下落を示せり

△石油　漸次夏季に向ひ各種共前月に比し一般賣行減少せしも日一日韓人方面の需用多きを加へ比較的賣行良好なり亦直段に於ては前月に大差なし

△石炭　夏季に向ふと共に幾分需要を減ずるは免がれざる事なるも煉瓦窯及湯屋等の需要多き爲め甚敷減少を見ず値段に於ては前月に比し日本塊炭一噸に付き一圓方の下落を見るに至れり

△薪炭　石炭同樣幾分其需要を減じたるも邦人の入京多き爲め著しき影響なく可也の賣行あり相場に於ては每年本月は下落するを常とす然るに本年は暴徒の爲め出廻り少き爲めに例年の如き下落を見ず前月に比し大なる變動なし

△材木類　官民諸工事の好時季にして多少の活氣を呈したるも一般商況不振の前途を氣遣い民間に於ける建築事業少く昨年の同期に比し約三割の需要少きも他品に比し賣行良好なりと云ふを得べきか相場に於ては格別の變動なし

△板硝子　材木と共に賣行良好なるも昨年の同期に比すれば約一割の需要減少し直段に於ては著しき變動なし

△煉瓦セメント　諸官衙の工事盛なると共に賣行益々良好にして煉瓦の如きは客月以來品切勝の狀態なり直段は前月に比し變動なし亦セメントに在ても相應の賣行あり相場は前月と大差なし

小說　新不如歸(四十)

篠原嶺葉著

尾花夫婦が新婚旅行から歸つた五日目の日曜日であつた。鮫男は新なる家庭を造つたのが樂しくて奇らしくて、母の手前も憚らず己が室に百合子を呼び寄せ、サモ樂しさうに笑ひ興じて居ると、同じ參謀官たる足柄少佐が遊びに來たので、百合子を彼室へ避けさせた後、其室に請じた。

まだ座に着くか着かぬに、足柄は例の甲走つた調子で、

『今日は君の結婚を祝しに來たんぢやぞ知つて居れば疾に來るんぢやつたが、內密でと行つて了ふから、其罪君に在りだ、はゝゝゝ先づどうも御目出度う萬歲、々々、僕も美人を貰はうと思つて探してるが、奈何も氣に入つた女と云ふものは無いもんだ、君は僕等と違つて好男子だから、格別に又美人を探し出して貰つたんぢやらう、今日は是非れ目に懸つて將來の懇親を願はんけりやならん、はゝゝゝいや喋舌つて居てれ祝の品を出す事忘れて居つた。』

と云ひつゝ起つて、袂に載せた祝の品を添しくそれに進め。

『ほんの驗ばかりだが納めて下れ給へ、祝の品は鮮少でも御馳走は澤山賴むよ、はゝゝゝ』

『どうも御叮嚀に有難う、謹むで受納するが御馳走は君が希望に任せて爲る、何なりと望むで下れ給へ。』

『では斯う爲やう、實はこれから御馳走になる約束があつて、行きがけに來たと云つちや、濟まんが、眞個行きがけなんだ、だから御馳走して下れるなら今度來る時まで延ばして貰はう、其代り妻君だけはどうか拜まして貰ひたい。』

『妻は君が見ないと云つても見せずにや置かんが、眞個これから何所へ行くのか。』

『眞個だ、眞個今日は或所から招待されて十一時頃に行く約束になつてるんだ。』

と、帶の間から時計を出して些と眺め、

『たゝ、もう十時を少し過ぎてる、では妻君にれ目に懸つて早速れ暇爲やう。』

『大層急ぐぢやないか、では妻をれ目通りさせやうかね、美人だから驚くなよ、はゝゝゝ。』

と云ひつゝ呼鈴を鳴らせば、聲に應じて下婢が伺つた。

『百合子にね、御挨拶に些とれ出ツて。』

『はい畏まりました。』

下婢が退ると、間もなく百合子は美裝を凝して、徐に室に現れた、見るより尾花は、

『これは、私の同僚で足柄さんと云ふ方だ宜しく挨拶しなさい。』

と、百合子は嫺に兩手を突き、

『私は百合子と申します、此後はどうぞ宜しくれ願ひ申します。』

と、一禮すれば、

『僕は足柄と云ふ尾花の友人です、どうぞこれからはれ心易く願ひます。』

と云つて百合子の顏を見たが、奚ぞ圖らん其女は、自分が戀焦れて結婚まで申込むだ西脇義祐の妹であつたから、ハット驚く胸をジッと押へは押へたものゝ、さなきだに天性の美人が、淡泊と化粧を凝した姿を見ては、何んで嫉妬が起さずに居られやう、其の難き恨は、綿々として湧き、あはや、嘗女は西脇の娘さんでしたねと、睛に侮蔑しやうと、口の頭まで出た辭を嚥込むで、招待の約束を口實に、匆々別を告げて歸つたのである。

▲京城醫師案內▼

日韓病院
各種血清療法　每日種痘
新皇城　大漢門前

植村病院
內科　外科　婦人科　入院隨意
京城南山町二丁目　(電話三三〇)

高井醫院
入院隨意
京城壽町三丁目(元阪井病院跡)
院長　陸軍二等軍醫正　高井貞治　(電話二一六番)

中島醫院
病室新築入院隨意
內科、小兒科、花柳病
眼科、外科、婦人科
京城壽町三丁目　淸水材木店跡
院主　醫學得業士　中島貞信

十全病院
入院隨意
京城旭町三丁目　電話七三七番

安東病院
內外科　小兒科　產科　花柳病　入院隨時
京城旭町一丁目　電話九一三
院長　安東貞一郎

入院隨意各科診療
共立病院
京城本町六丁目

京城醫院分院
京城西小門通り
院長　菅恒

戸田病院
黴毒　横痃皮下注射療法　包莖無痛手術
內科　外科　婦人科　眼科　小兒科
京城南大門通一丁目日の出旅館に

松岡醫院
眼科　內外科
明治町一丁目(本町座前)
入院隨意

一字千金

◎疊製造業並ニ表替
京城永樂町一丁目(赤門前)
横井疊製造所

西洋洗濯業　確實にて仕事叮嚀
旭町二丁目理事廳裏
伊丹屋

花莚疊表廉價販賣
京城長谷川町
東亞興業合資會社

西洋洗濯　期日正確　仕事叮嚀
並ニ和服洗張
京城長谷川町一丁目卅一番戶
有田組

染物並洗張
迅速叮嚀を旨とし染色艶麗にして確實なるは本工場の特有なり
龍山元町四丁目　元今村跡
桑澤工場

諸傘並ニ提灯類
印入
和洋蠟燭あり
京城明治町二丁目
大島商店

襖張替　表裝一切
京城本町五丁目
表具師　竹堂

佐藤旅館
京城旭町一丁目八十番戶　理事廳東角上名古屋城の上
電話八二八番

大東產婆看護婦會
永樂町三丁目五十五番戶
產婆　大島すみ
同　岡上君代
電話(三四)阿比留氏取次

明法學士
特許訴訟代理人　小川勝平
事務所
京城本町二丁目(電話四壹番)
大邱東門外

民刑訴訟鑑定
登記漢城府手續
諸願屆代書
土地鑛山測量
集金取立代辨
土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介
京城本町一丁目民役所前
岡田事務所
取次電話六二四

▲京城辯護士案內▼

辯護士　皆川廣濟
京城南山町一丁目山手　(電話八五七番)

永井法律事務所
京城旭町三丁目　(電話二三八)
辯護士　永井道忠
辯護士　白井勝悟

辯護士　大久保雅彦
京城旭町二丁目　(電話八三九)

辯護士　木尾虎之助
事務所　京城元博覽會表門通り　亭洞六十四統二戶

辯護士　岩田仙宗
元判事　法律學士
明治町二丁目七十五番戶　佛國敎會表門前
電話三五四番

辯護士　藤井太郎
本宅　京城東大門外支暎運別莊
事務所　京城旭町二丁目

辯護士　明法學士　前代議士　高橋章之助
事務所　銅峴三十三統五戶(明治町突當)　電話二五六
本宅　京城本町五丁目　電話二二四(長距離)

辯護士　莊子斌
京城旭町一丁目　(電話七四五)

◉蓄音器 各種 新嶄 音譜 各種 新荷着
東京三光堂　蓄音器韓國總代理店
京城本町　辻屋
本店電　二四八
支店電　三八六

京城新報

東洋拓殖成立難乎

余輩が接受せる諸種の報道と、世上の傳説とを綜合すれば恰も符節を合せたるが如く東洋拓殖會社の創立難に想到せざるを得ず、曰く西園寺内閣の存立中は拓殖會社の創立は到底見込なし、曰く伊藤公が中心此會社の創立に不快を感せる爲なりと、西園寺内閣が之に反對の意見を有することは、原、松田が拓殖會社の設立を目して今は其時機に非ず云々と罵倒したりとのことに徴するも分明なり、其の反對する所以は桂派をして之に據り勢力を張らしむるを忌める爲なりと此事は原、松田等が政權を維持する上に於て當然有り得べき事にして決して臆説のみに非ざるべし、伊藤公の中心不快を感ずるは、拓植會社なるものが統監政治の缺を補ふ爲に設置せらるゝもの、恰も自己の綱張内を他の勢力に侵さるゝが如く感じ、之を成立せしむるは桂派に自己の勢力範圍を削減せられ、從て威信を保持する能はざるに至るべしと杞憂するが爲なりと云ふ此説は大政治家たる伊藤公として受取られざるなり、伊藤公如何に狹量と雖も斯く迄小心ならざるべし、然れども説者は曰く、伊藤公にして中心より之を贊同せば西園寺内閣と雖も勢ひ拒む能はず、公と西園寺内閣の關係を知るものは之を否定する能はざるべし、如何に西園寺内閣が之に反對するも公にして中心より之が設置を希望し、其成立を速ならしめんとの意あらば、公の威望勢力及び其關係上より説破するに於て内閣亦之に抗する能はざらむ、内閣が種々の口實を設けて之を避る所以のものは、公が内心此設置に不快なるを知るが爲なりと、斯る觀測よりして現在の行惱める狀況に照らして考れば余輩と雖も或は此事なきやを疑はざるを得ざるなり、殊に公の虚榮心に富めるを聞くに於ては勢力範圍を侵さるゝの杞憂より茲に至れるなきやを疑はざるを得ざるなり、

若し夫れ以上の觀察にして誤りなしとせば余輩は伊藤公の雅量に乏しきを悲み且つ笑はざるを得ざるなり、今や時勢は着々進歩して對韓の經營も滿州經營と相俟て大發展を爲さざる可らざるの時となれり、滿州の經營は後藤男の露都行に依りて一の發展期に入れり、韓國經營亦之に相應じて帝國の大陸發展の基礎を作るの急を要する時となれり、此際に於て拓殖會社の創立は尤も急を要するに非ずや、區々たる感情や政爭の爲に之を遲延せしむるの場合に非ざるなり伊藤公にして世説の如き不快の感あるが爲に其成立を障ぐることあらば幷は斷じて不可なり、斯の如きは公の威信を保つ所以に非ずして偶々以て公の狹量を示すものなり宜しく國家の事業をして政爭圈内より脱せしめ以て速に成立せしむべし

●東京通信

對星樓山人（十五日）

峯岸君足下、僕は京城を脱して玄海を渉り數日西都三十六峯の間に徊徘するを得たりしは實に十年來復活の心地致候、否還本の念を禁じ能はず候

西都は母國不景氣の大勢中に於て尤も善き狀態中にありと目擊仕候、少くとも三十八年に於て目擊したる沈衰荒涼に比して頗る潑溂を加へたるものと觀察仕候

足下、帝國博物館に於ける奈良朝時代の佛畵は他に見る可らざるの珍物にて然かも其の大半は西本願寺法主大谷伯の寄贈に係るものにて西本願寺の寶庫こそ美術家及好古者の垂涎する處にて候、東山と西山と相對し、一帶の綠林は初夏の風光を添へて、轉た客衣を濕ほすもの有之候

舊都を去りて東京に到る、馬車的に各名士各友人又各先輩を訪問致候、事韓國の時局に至れば何れも甚大なる誤聞と浮薄なる通信、荀息なる報導になりて全く對韓眼は薄暗らくなりつゝあり、國民に代りて此迷蒙を醒覺致度候、尤も不快にして尤も不道德に感じたりしは、吾人等に對する迫害的通信並に中傷的中傳へを爲したる痕跡あることにて候、斯る手段を行いたるもの〻睾丸見度ものにて候

代議士漸く集まり、昨今新政事家の入京續々と見受候、東上列車の一等室に羽織袴でパナマ帽子で政治論を爲すものは先づ新代議士連にて候、最早統監の歸朝期も追々近接し、副統監は兩三日中に出發せられ候由只だ何事も天下の政權競爭は利益と事業との混合致候事、帝國の爲めに惜しむべき現象と考られ候、政權者の暗鬪は漢城の名産のみにて無之候

市の形觀は多少面目を改め朝鮮移民者などには切符の買方、乘換等中々面倒にて候、梅雨以來細雨霏々として旅衣に滿ち只だ快心の一擊を加へたく候　頓首

桑港電報

▲日米親善の兆

米國回航艦隊が桑港寄港の際日本人が歡迎費を寄附したるは米國人の感情を和らげ日米親善に赴く兆有（十七日東京經由）

東京電報

▲在外教員と特典

滿韓其の他の日本居留民團立小學校の教職に從事するものは徵兵令第十三條第三項の特典を與へざることゝなれり

▲不審韓人の渡來

昨今怪しき韓人入京するもの多く依つて其の筋にては嚴重に警戒中なり

▲春蠶の掃立

各養蠶地々方よりの報告に依れば春蠶の掃立は例年より少なきが本年は天候の關係より秋蠶に比し一層の減少を見るべき豫定なり

▲鐵道旅客の減少

鐵道旅客例年に見ざる少數にて鐵道廳は一日平均一萬三千人の減少にて從つて本年の豫算にも影響を蒙るべきに依り同廳にては之が善後策に就て昨今講究中なり

▲在野黨聯合

進歩黨は近々民黨各派と内交渉をなし在野黨聯合を圖り居れり

（以上十八日發）

▲東宮の韓太子訪問

皇太子殿下には今日韓國皇太子を御用邸に訪問せらる

▲内相の園遊會

原内相の園遊會は政友派所屬兩院議員百三十餘名參集先づ諸種の餘興ありたる後立食に移りたるが頗る盛會なりき（以上十七日發）

雜報

●ベッセル宣告

大韓每日申報前社長ベッセル氏は三週間の禁錮に處せられたり詳細は明日の紙上に報導す

●地方官制の改正

今回地方行政の刷新を圖るため地方官に責任を帶ばしめ其の權限を擴大する事となりたる結果地方官の官制を改正するの必要あり目下當局に於て調査中にして遠からず其の改正を發表せらるべし

●裁判所開廳期

新設裁判所は全國同時に開廳する方針にて豫定期日を七月一日とし各裁判所は關係職員一同開廳準備のため日夜事務に鞅掌せるが京城及び交通の便利なる地方は準備既に整ひたるも遠隔の地に至りては豫定の通り進捗せず去りとて各地方別々に開廳するは面白からざるを以て同時に開廳せんとせば或は多少豫定期日に後るゝやも計り難しと云ふ

●監獄署事務の開始

今回新設せらるゝ監獄署八箇所は既に開始準備完了し近きを以て何れも豫定通り七月一日より事務を開始すべしと云ふ

●裁判書記事務打合會

新設裁判所書記一同は本日午前十時より事務打合會を催す

●ベッセル事件の公判（第三日）

拾七日午前十時開廷證人として出頭したる光州暴動の巨魁閔宗植外韓人四名に對し檢察官及び被告辯護人より韓人が暴動をなしたる原因及び大韓每日申報の記事が彼等に與へたる感想を取調べ夫れより被告辯護人はスチーブンス氏の遭難と大韓每日申報との關係に就きて論ずる處あり且つ被告ベッセルの無罪なるべき理由の一部を述べ正午休憩午後二時より午前に引續き同辯護人は無罪の理由を陳述し檢察官此れに對して猶々ベッセルの非行を述べて其の有罪を論告し終るや判事は徐ろに被告ベッセルの有罪なるを告げ且つ理由を附したる判決は明日午後四時當庭に於て言渡すべしを以て既に有罪なりと認められたる被告は保證金千圓を納付して歸宅し明日再び出廷すべき事を命じベッセルは此の命令によりて保證金納付の手續を了し午後四時閉廷せり

●許爲縛に就く

京畿道方面賊徒の首領として京城附近より江原道方面に掛け勢力を振ひし前議政府參贊許爲は去る十一日永平郡西面柳洞に於て鐵原憲兵分遣所太田憲兵大尉外憲兵五名の手に捕縛せられ十六日夜京城憲兵分隊に送致せられ目下取調べ中なりと云ふ

●憲兵補助員募集數

今回新設されたる憲兵補助員の募集數は四千名にして募集區域を三十九管區に分ち募集することゝなりたり

●地方農作と賊徒（承前）

△交河郡地方は一時賊徒の徘徊頻繁にして農民の被害多く隨て之等賊徒の暴戾に耐へずして本年四月二十七日約七十名の農民は家財を纏め新義州方面へ移轉し一進會員の如きは土地家財を其儘拋棄し辛ふじて京城に避難せるの狀況なるを以て此地方は多少の曆田あるべしと

△黄海道は一般を通じ昨年十一月以來本年四月頃までは賊徒の徘徊頻繁なる爲め人民被害少からざりしも憲兵の配置增設と共に賊徒の討伐人民の保護に努めたる結果漸次賊團の解散或は歸順の續出と同時に稍々平穩に歸したるを以て播種耕作上に被りし影響は賊徒の出沒頻繁なりしに拘らず僅に二三ヶ所に過ぎざりしは喜ぶべきなり

△兎山郡一圓及金川郡左面口耳面合灘里の三ヶ面は避難者及賊徒の加入者多く是等の田畑は播種耕作の季節に至るも農事に從事する者もなく大部分荒廢に歸せりと雖も避難者の田畑の如きは所有者より郷民に交渉したる結果播種季に多少の遲延を生ぜるも洞民に於ては更に角協力播種を了したりと

△平山郡州縣面附近農民の子弟は概ね此地を根據とせる賊徒首魁李志龍の一團に强制を行せられたるを以て一時は耕作播種の希望を絶てりと雖も其後子弟等の漸次歸家して夫々農作に從事し著しき被害を見ず

▲全羅南道を概括するに賊徒蜂起の爲め播種耕作上に指適すべき影響を及さゝるが如し何となれば賊徒は土民の生命に危害を與ふること稀にして一家一郷離散し難を他に避くことなければなり然れども賊徒が常に出沒する地方樂安、寶城、同福、咸平、長城地方にありては耕作に從事する農民を捕へて糧食並に銃器の徵發に使役し又强て終夜警戒勤務に從はしむる等勞働上多少の影響ありと雖も之れが爲め播種の時期を遲るゝことあるなし而して本郡農民は榮山浦、木浦、靈巖、綾州、羅州及び南平地方に散在し我官憲の保護に恐る比較的便宜の土地なるを以て是又被害なしと云ふ（未完）

●三菱の活動

四月下旬清國視察の途に上れる莊田平五郎氏は殆ど二箇月に亘る調査を終り上海メールにて十五日長崎到着の豫定なるが氏の天津を經て北京に入るや大隈伯等の添書を齎して慶親王、醇親王以下清國大官と會見を重ね何事か運動の模樣なりしが果せる哉氏は北京滯在中清國軍艦三隻の建造を引受けたりと三菱は近年對清事業の經營に就ては漸次其の勢力を集注せんとするの傾嚮顯著なるものあり既に清國全般に亘りて代理店を進め出張所を擴張して支店に改め歩一歩對清事業の基礎を固め來れるが莊田氏渡清の結果天津支店を新設し北京には出張所を開くことゝなるべし三菱上海支店長たりし田原豐氏が神戸支店長次席に轉じ香港支店長松木鼎三郎氏が上海支店長に榮轉したるが如き若くは元門司支店長たりし江口貞保氏が一兩日前上海に急行せしが如き何れも三菱の清國活動の前提を證するに餘あり

●清酒醬油運賃に就て

鐵道管理局が輸入清酒並に醬油に限り噸扱ひを斤扱ひに改め六月一日より實行したれば仕向地に依りては倍額以上の運賃を仕拂はざるべからざる事となり其販賣上多大の打擊を蒙むるを以つて斯業者の重なる者數名仁川商業會議所を訪ふて具さに陳情する所ありたるは既報の如くなるが同地に於ける斯業者間には團結を圖る爲め組合のあるありと雖も今回の運賃問題は其の利害相反する者勘なからざれば到底一致の歩調を採る事能はざるべしと云ふよ

●仁川財務署建築計畫

仁川財務署に於ては今回廳舍新築の計畫にて目下敷地選定中なるが多分宮内府所有の佛國教會堂附近に決定さるべしといふ

●叙勳

十七日左の通り内外國人に對し叙勳ありたり

特叙勳四等　外國語學校教師　ハルレーベラサ
同　プリントンブリヤーアン
特叙勳五等　學部書記官　閔健植
同　金漢奎
各賜太極章
特叙勳四等　日本國第一中學校長　マーテール　勝浦鞆雄
外國語學校教師　ドバンユーク
特叙勳五等　前財務署財務官　後藤常吉　本間九介
日本第一中學校教諭　渡邊盛衛
特叙勳六等
各賜八卦章　（以上十五日）
特叙勳五等賜八卦章（十六日附）　内閣書記官　高源植

外に文武奏任官在職十五年以上の者及降動期に達したる（韓人）判事金吉鉉以下二十八人勳章條例に依り夫々叙勳すべき御沙汰ありたり

●日本赤十字社の光榮

皇后陛下には去月末松方社長を御前に召させられ御製の和歌一首を本社に賜はりたる趣洩れ承る所なるが本社にては右の御製を撲寫して各支部に頒つべしと尙偶有功章社員に對しても之を拜戴せしむる筈なりと

●實業同志會總會

仁川實業同志會にては昨日八坂樓に於て總會を催す筈なりしが雨天の爲め本日に延期せり

●ハリハックス氏へ慰勞金

韓國外國語學校教師にして今回解任せられたるハリハックス氏は元英語學校以來勤續滿十三年に及び其の功勞尠からざるを以て韓國政府は慰勞金として金五千圓を贈りたり

●三土書記官の慰勞會

香川縣より代議士に撰出せられ學部を辭したる三土書記官に對し韓國政府は氏の二箇年間在職の勞勢として金五百圓を贈與せり

●宇佐川中將の歸東

數日來滯京中なりし陸軍省人事局長宇佐川中將は一昨日午後十時四十分南大門發夜行列車にて出發歸東の途に就かれたり在京各將校其他見送多數なりし

●三輪檢查官の地方視察

會計檢查院檢查官三輪一夫氏は目下當地に滯在中なるが一兩日后鎭南浦平壤義州の方面に向ひ同地方の視察を終へ再び京城を經て三南地方に向ひ更に北韓地方を巡視する筈なり

●菊池長風氏

東上中なりし菊池讓謙氏は昨日東京出發來る二十一日歸韓せらるゝ筈なり

●オビンソン氏出發

濟衆院の醫師として久しく韓國にありし同氏は一昨日出發歸國の途に就けり

●商船仁川支店長着任

大阪商船仁川支店長廣居精一郎氏が大阪支店に轉任するとは既報せし所なるが其の後任者元宇品支店長西風氏は昨日群山丸にて着仁したりと

●池袋佐々兩氏の歸國

來京中なりし專賣局經理部長池袋秀太郎東亞烟草會社長佐々熊太郎の兩氏は昨朝南大門發急行列車にて歸朝の途に就けり

●宮木稅關長の視察

宮木仁川稅關長は關稅警察取締及港務行政視察の爲往復四十日間の豫定にて東京大阪神戸等に出張すべく十日付を以て度支部大臣任善準より命ぜられたるが其の出發期は多分二十三四日頃なるべしと云ふ

●辭令

（七日附）

任統監府通信事務官　統監府通信事務官（叙高等官六等）　補正七位勳六等　青澤鎰太郎
任統監府通信事務官補　統監府通信屬（叙高等官七等）　正六位勳六等　若森美樹

公人私人

△津末有隣（海州裁判所判事）　一昨日來京　三日月旅館
△竹内卷太郎（京畿道書記官）　一昨日出京　巴城館
△平石氏人（關東都督府高等法院長）　天眞樓
△辻清一（陸軍二等軍醫）　浦尾旅館
△大谷正治（同上）　同上
△澁谷太郎（海州農銀支配人）　同上
△宇佐川一正（陸軍中將）　一昨日出發
△眞崎晃三郎（同上副官）　同上
△諏訪善太郎（典獄）　咸興へ歸任
△上田虎一郎（同上）　公州へ
△古垣宗次郎（同上）　光州へ
△下山清一郎（辯護士）　大阪へ
△富山要次郎（典獄）　大邱へ

●近事片々

▲優詔　允用に下り允用氣焔萬丈とは一寸面黑い引れ者の小歌とは先彼樣な者でムる

▲寵妓　山月を伴ふて金山郡に暫らく閑臥し更に捲土來とは何處迄も押の强い爺殿也

▲承寧　府の趙氏愿辭任し申大均任せらるとの事之は何とか外に適當の人物を要す也

▲允用　の辭職と共に宮内府高等官に多數の更迭ある筈也と左もあるべし是最も必要

▲第一　新任の大臣閔丙奭を更迭せざれば到底府内の革新は困難なりと說く者有如何

▲何故　か完用氏自己の家屋財産を悉く他人の名に移せりとの說有何の爲にや疑はし

▲曾根　副統監歸任の途次馬山浦に立寄り彼邊の實況を視ると大分本氣に成て來た哩

▲疊上　の水練は駄目也百聞一見に若かず深く地方の狀況に通ずることは肝要の事也

▲裵說　の公判は世の注目を惹きたるにやロイテル及米國聯合通信員等傍聽の爲來る

▲宋内　相得意に意見を發表して帝室財産及地方行政の刷新を語る言行一致せば感心

▲統監　亦大に宋氏に期待する所ありと統監の新任に對しても後へは退れぬ緊褌遣れ

▲成程　統監が宋を譽るのも尤も也其信任の厚き推擧する樣て傲氣を生ずる時なき乎

▲鶴原　君と宋氏と何事か默契する所ありとの說あり眞僞素より保す可らず何事にや

▲完用　辭任の說と共に現内閣の崩壞說亦始る或は自然此危機來さるとも限らざる也

▲政界　の浪激する時は小藻屑は呑沈せらる趙重應等小才子の消息杳として絶へたり

▲新任　の觀察使には思の外新人物を容れたり然れども皆片々たる小才子のみ可歎也

▲多く　は日本に留學せる者及び流浪せし者也到底文明の半可通のみ刷振の手腕なし

▲斯る　人物を以て地方行政の刷新を計らむとするは到底井蛙の見たるを免れざる也

▲豪商　故諸戶淸六氏遺言に曰く道樂は可なるも相場は爲す可らず眞に好箇の金言也

▲色情　狂出齒龜公判に於て前言を全然否認して警官の拷問の結果なりと空嘯く大膽

▲醜平　として前言を取消し警官の暴壓を訴ふ事態益々迷路に入る此判決は大に見物

▲亞剌　斯加に怪獸現はる身丈廿五尺頭尾の間は七十尺躰量四十噸速力一時間四十哩

▲英國　のウエストミンスター公之を捕る爲め遠征隊を組織し本月出發するとの事也

●池袋部長其他の招宴　度支部に在勤の高等官にして大藏省に關係ありし諸氏は一昨十七日午後六時より目下來京中なりし池袋專賣局經理部長三木檢查官及び佐々東亞煙草會社長の三氏を花月に招宴し午後十時一同紀念の撮影をなし散會したるが極めて盛會なりき

●仁川通信（仁川支局發）

▲地稅　問題は民團側委員と地主派委員とが數回の會見を遂げたるも不幸にも遂に協定不調に終るの止むなきに至れり、民團に於ては之れが爲めに直ちに租外地地主六十餘名に對し督促令狀を發すべく目下準備中の由に候

▲然るに地主派が元百餘名の調印を求むるに至り▲三大地主は發起となり各地主に向ひ若し該陳情書に調印せば四十年度の地税は納附の義務を免かるべしとの言を以て戶毎に勸誘したるが爲めに談判破裂の今日に至り過半數の調印せる地主連は發起人の俊辨に欺かれたりとて遂に地主會は二派に分立し一は飽迄民團側に反抗すべしと唱へ一は若し差押處分を蒙れて妙い加減に民團と妥協するを得策なりと說くもの〻由に候

▲雖然　本問題目下の狀態に於ては協定不調の爲め民團が最後の手段を講ずる事に決定し一先づ落着を見たるが如き觀あるも事實は決して然らず今迄此實の底意に潜めて團對地主派の葛藤は愈々之れからが見物物にして種々民團目下の四園の狀況より之れを察すれば予輩聊か寒心に堪えざるものあり地主派六十餘名は不日差押の處分を受けて彼等其處分に服すべきや否や、之れ何人も直ちに想ひ到る所なるべく候

第三種郵便物認可　明治四十一年六月十九日　京城新報　（金曜日）　第百七十三號　（二）

●度支部長其他の招宴 度支部に在勤の高等官にして大藏省に關係ありし諸氏は一昨十七日午後六時より目下來京中なりし池田專賣局經理部長三◯檢査官及び佐々東亞煙草會社長の三氏を花月に招宴し午後十時一同紀念の撮影となし散會したるが極めて盛會なりき。

●仁川通信（仁川十八日發）

▲地税 問題は民間側委員と地主派委員とのが數回の會見を遂げたるも不幸にも遂に協定不調に終るの止むなきに至れり、民團に於ては之れが爲めに直ちに租外地地主六十餘名に對し督促令狀を發すべく目下準備中の由に候

▲然るに地主派が元百餘名の調印を求むるに至り▲三大地主は發起となり各地主に向ひ若し該陳情者に調印せば四十年度の地稅は納附の義務を免かるべしとの言を弄し戸毎に勸誘したるが爲めに談判破裂の今日に至り過半數の調印せる地主連は發起人の俊辨に欺かれたりとて遂に地主會は二派に分立し一は飽迄民團側に反抗すべしと唱へ一は差押處分を恐れて姑く擔保は民團と協議するを得策なりと說くものゝ由に候

▲雖然 本問題目下の狀態に於ては協定不調の爲め民團が最後の手段を講ずる事に決定し一先づ落着を見たるが如き觀あるも事實は決して然らず爭議は愈々紛糾して民團對地主派の葛藤は愈々之れからが見物にして種々民團目下の四圍の狀況より之れを察すれば不穩◯◯に堪へざるものあり地主派六十餘名は不日差押の處分を受けて從容其處分に服すべきや否や、之れ何人も直ちに想ひ到る所なるべく候

雜報

●官吏本位の京城（五）

▲食料品屋の店頭

試みに市中の有名な食料品屋の店頭を覗いて見れば直ちに其の如何に官吏向き商品の多いかが判る、尤もこれは敢て食料品屋に限つた事は無いが先づ食料品屋と云へば色氣と食氣で凝り固まつた京城官吏に相應はしい贅澤品が他の商店に比してより多く陳列されてあるのだ、

年頃は三十四五、鼻下にはほんの申譯ばかりの薄い髯を五六本、唇の薄い顏色の青い痩せぎすが物も言はずヌッと食料品屋に入る夕方の散步にも物々しう黑絽の五つ紋を羽織つて、白足袋に氣取つた履物、『オイ』橫柄に先づ番頭を睨めつけて『ジャムがあるかジャムが』オヤ〱とばかり番頭は先づ驚『何んだプラムと葡萄、不可ない〱外に異つた奴は無いか』左なきだに鬪々しき泥腕番頭此の橫柄な客に恐入りもせず腰を掛けよとも世辭いはず『一体に前處は冷淡で不可ない、此の間のプランなどは全で甚いナッブンぢや無いか、些と注意して遣して呉れ』猿臂を伸ばして番頭の前にある燐寸を取つて安煙及を燻らし初むる、番頭はた氣もし嫌とも云はぬ橫柄なる態度が癪に障ること一方ならぬので、品が惡くば買はねばいゝぢや無いかと云はぬばかりの面つき、客も稍ムッとしたが『オイれ前とこには籐の寢椅子は無いか』食料品屋で寢椅子の有無を聞く馬鹿もあるまい『何、無いか、ソウか成程食料品屋に洋家具は無いとか、尤も〱』厭に口を噤めて冷笑を漏らす客の態度愈惡さげなり、夫れでも番頭は馴れた者敢て橫柄なる客にはヘッラハぬに限ると口に出しこそせぬ心に思つて居るらしい客は店內一通りを見廻はして去らんとしたが待て暫し此儘歸つては橫着な番頭に乃公の身分を知らす機會が無くなる、待てよ此處で一番乃公の身分を明かにして彼の冷淡なる番頭の鼻明かし呉れんかなど更らに番頭に向ひ『オイ後でいゝから先きのジャムを持たせて遣つて呉れ、ソウ、無けりや仕方が無いなら葡萄でいゝ、若しあるなら苺か何かをね、夫れから其の序にプランを又半ダースばかり、此度は此前と品を替へて呉れ』番頭は心に大勝利を稱ねた、ソレ見ろ此方で冷淡にして居れば向うから折れて來るに極つて居ると思つたか『ハイ〱プランは半打にジャムは幾つですか』『ニッさ』恁麼所にサが付くのも妙な者だ『何處樣で、此の前のプランと云ひますと……』倭城臺よ官舍第何號、此前のプランは顏面を繰つて見たら判る、必ず持つて來て呉れ玉に一ブウと煙を吹いた濟まし方、哀れ番頭は官舍第何號と聞いて忽ち腰を折つた、『ハア左樣でムいますか毎度有難う樣ドウぞれ掛けなすつて』以前に變る態度二本筋君の得意想ふべきである。

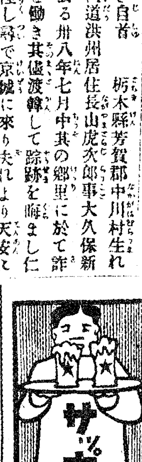
●洞が峰の大蛇 佐賀縣神埼郡三瀬村字栗原の木挽某が去る九日の事同村の山奧に分け入り洞が峰と稱する深谷にて伐木に從事し丁々たる斧の音の谺にさゝれて物凄き折しもあれ不圖傍を見れば眼光爛々たる怪しの物の蠢動くにぞ何物にやあらんと熟視すれば這はそも如何に其周圍は凡そ三尺にも餘り長さは五間にも超へたらんと思はるゝ大蛇なりしかば此男平素は氣丈を以て知られしも流石に恐ろしかりしと見へ身を飜へして逃げ歸り頓て晩酌の膳に向ひ無難なりしを祝し扨て此事を村人に告げなば騷擾と恐怖とを惹起さんとて口外はせざりしとぞ然るに其翌十日同村字土師なる山本久藏の三男與三郎が斯かる怪物の棲み居るとは夢知らず前記洞が峰にて萱を苅り居たるに不思議や約五六間許の前方生ひ茂れる萱中に異風の大蟒を有したる怪物の眼光鋭どく自分を睨み居たるより與四郎今茲二十歲の若者なれば血氣に任せて件の怪物を生擒呉れんとて忽ち三尺許なる手頃の木刀を揣へ只だ一打に打据へ呉れんと近寄れば身の毛も彌立つ程の大蛇なれば立向はん擬勢も失せ逸足出して逃げ出す途端不幸にして石に蹶き仰向けに仆れたれば大蛇は得たりと追附きつゝ忽ち左足に卷附きしが除りに蛇體の大なる爲めか充分に締むる能はざるを見て餘四郎は必死の力を極めて足を拔取り其儘懸命に駈出すを大蛇は尙ほも跡を追ひ來るにぞ與四郎は危急の際にも機轉を利かせ蜿曲に馳け行けば大蛇は猛勢に傾斜せる坂路を一直線に馳せ下り百間計を遠かりし時與四郎は稍安心せしものか忽ち其場に氣絶し居たり扨ても與四郎方にては歸宅の遲きを打案し近所の人々を賴みて諸方を搜索したるに無慘や身体數ケ所に負傷し人事不省に陷り居るを發見し一同は打驚き醫者よ驗よさ種々手當の末漸く蘇生したれば家に連れ歸りしも今に療養中なり然れば同地界隈の人々は此事を聞傳へ何時大蛇の顯はれて不意を襲はんも圖り難しとて就中女子供などは恐怖を起し居るもありと云へば一番大蛇退治を試みんと力み居るもありと何だか近頃はよく斯んな大蛇などの出る事なり

◉萬洗張、ゆのし、染物悉皆
●並に幕類調製
京城壽町二丁目 キトウ洗張店

●男斬り後聞 男に斬り付くと題して若草町一丁目國生トメが其の向い合せに住む本田與三郎と賭博の事から口論を初めたる末トメは與三郎より姦通云々と云はれたるを憤り有り合せたる出刄にて與三郎の耳朶に斬り付けたることは本紙前號に記したる如くなるが與三郎の傷は疾病休業二日を要するに過ぎざるを以て與三郎承諾の上トメより與三郎に休業中の手當として金參圓と外に治療費全部を支拂はしめて事濟みとなりたりと

●怪しき自首 栃木縣芳賀郡中川村生れ當時忠淸道洪州居住長山虎次郎事大久保新（四十）は去る卅八年七月中其の鄕里に於て詐欺取財を働き其儘渡韓して踪跡を晦まし仁川に上陸し尋で京城に來り夫れより天安に二ケ年程滯在したるが天安にて黑岩倉太郎なる者に知られ同人の店員を勤め居りたるも本年一月之を辭して自分にて料理屋業を初めたるも間も無く失敗に歸して廢業したるが熟々舊惡を思ふては到底浮ぶ瀨無き者と知り去る五月卅一日出京して自首せんと欲したるも心に未だ決せず躊躇しつゝ遂に今日に至り出京後は多くは韓人宿屋に宿泊し居りたるも迚も此儘免るべき罪にあらざるを以て一昨日自首し出でたるが南部署にては兎も角も其儘留置し目下鄕里の警察に照會中なりと

●飛んで眼に入る石のかけ 何組で請負つて居る仕事かは知らねど先頃より南大門外に於て十數人の石工が盛んに石を碎きて細工をなし居るは結構なれど斯かる往來頻繁なるところに一寸とした板圍ひもせず剛の金槌を振り舞はしていさゝも平氣に仕事をなし居るより其石片が遠慮なく通行人の足にあたり顏に飛び果ては眼に入る等のことゝ屢々なるを以て通行人は一般に恐痴をこぼし居れるが其の筋にては何んとか通行人のため取締をして欲しきものなり



●嬶に逃られ阿片を飲む 南廐屛門居住人力車夫朴山用なるものは數日前其最愛の女房と犬も喰はぬ夫婦喧嘩をなしたる果て女房は夫を捨て何處へか姿を隱したるにぞ山用は今更ながら女房が戀しくなり其處此處と心當りを尋ねれど尋ね當らざりしかば大に落膽し遂に去る十六日寺洞パゴダ公園門外にて鴉片を飲みて死を謀りしも死切れず苦悶し居る所を發見され中部警察署より山用の自宅に引渡されたり

◎馬糞十句　馬公

晩涼を追ふて自然派橫行し
宋どのが七郎連れて四郎逐ひ
李と宋の相撲勝負やいつの頃
枝ぶりは先づからやうと三保の松
有りようはわたし竹子になりたいわ
懷柔に懲りて以來は身を固め
野田ひらをはきて壽七が大威張
排日の粗を頻りに出す俵
自然主義ゆすら折りつゝ實行し
馬を賣り誰やらそつと妾にかへ

●俗調●　吉崎

君はどうしてヨポ〱するか
白の着物がきたい氣か
降らばふれ〱大雨小雨
濡ていろます若楓
痩た世帶にいじめる肥
肥ちや吸とる憎い蚤

●朝市の掏兒 以前はさることは絕えてなかりしと言つてもよい位なれど近頃邦人のメキ〱と京城に流れ込む事につれて生存競爭の激しく成り行く結果は從つて生活難を來すは是れ自然の數なりとは云へ大分近頃市中の間に掏摸、窃盜の數殖ゑしぞうたてき次第なれ、殊に近頃南大門朝市に於ける掏摸の橫行は非常なるものにて毎朝少なくとも五六人は其の難に罹らざるものなく而も其の掏兒は韓人にあらずして相當に身裝の賤しからぬ邦人なりと聞くに至つては殆んど呆れて物も言へざる程なり現に記者の知人某氏の如きは過日懷中に入れありし財布を掏摸れしこの事なるが之れ固より各自の不注意より生ずる災難なりとは云へ又其の筋にては油斷なく警戒あらんことを望まざるを得ず

高等貸席、待合
京城旭町一丁目 伊丹屋洗濯店橫へ入ル
住乃家

●疑似コレラ發生 旭町一丁目三十四番戶國末周吉（四十）は十五日發病十六日午後五時に至り疑似虎列拉と診斷されたり原因は不明なるが目下同所附近數戶に對し健康診斷を施しつゝあり

●法部官吏の謠會 法部在勤官吏及び新設裁判所に聘せられたる法官中には謠曲を樂む人多數なる由にて本日午後六時より右の人々南山本願寺に會し丘に天狗を戰はす由

●拾得 昨日百五十圓の小切手金指輪一個サック入實印一個を拾得し南部署に屆出でたるものあり心當りの者は申出づべしとなり

●科料 北米倉町三番戶玉轉業船越貞吉は本月八日自己の軒下に於て韓人に金錢を賭して玉轉を爲さしめたる廉に依り科料金一圓に處せられたり

（平）（民）（文）（庫）

▲花月の留丸が突然內地に鞍替した爲め呉服屋などでは掛を踏まれて困つて居る向きがあるい ▲稻葉亭の小三若龍の二人は金拂いが惡くて困る見どころも無い藝妓だ（同じ人）▲ 丁稚●●

業人も同じ人間が平氣で劇毒藥を扱ふは實に危險千萬其筋の取締を願ふ（入齒師）▲土木の下請負など云ふ者に碌な奴は無い親方も掛らぬ奴ばかりだ（龍山の權太）▲東洋醫院の藥局と看護婦は餘程隙と見ねて二階で巫山戲て居る（蟲齒買）▲泥峴商人の頭の高いには全く恐入る（小使總代）▲末益の千代子と鶴田主計との其後の消息聞きたし（多情子）▲追々韓人が甘瓜ばかりを食つてる季節になつたが甘瓜を喰つて生きてる國民は韓人より外にあるまい（南瓜虫）▲醜業婦を一概にケナすの勿れ今日の新聞三面種子の大部分は彼等の供給する處にあらずや新聞社たるもの少しく彼等に感謝の意を致す處あるべきなり（救世軍）

●天氣豫報（自十八日午後六時 至十九日午後六時）
南の風曇後晴
十八日午前六時各地氣象概況
一般に東の風吹き概ね雨天なり

廣告

開業御披露
ビヤホール
初夏の日影さはやかに淸風凉しき兎根山分けて綠蔭の其中に獨り立ちぬるビヤホール佳なる風景と淸凉の美味なるは皆樣方の御遊來に叶ふべし
本町九丁目 大和町三町目 三方より上る中央兎根山上
新町遊廓
兎茶屋

開業
花揃
愛吉 小奴 九十九
八島 房子 雪子
新町 山遊樓

月刊 朝鮮
毎月一回一日發行 定價廿錢 郵稅一錢 一切前金
京城本町二丁目 日韓書房

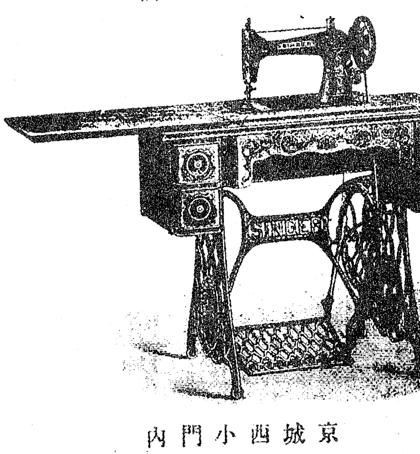
▲萬昆布店讓たし 但職人付▼
南大門通四丁目電車踏切
右御望みの御方は御來談ありたし
津瀨光平

業務擴張廣告
由來辯護訴訟鑑定の依賴に應じ居候處爾來業務の擴張を圖り熱心と誠實を旨とし事務取扱候
一民刑事辯護、訴訟鑑定、其他請求事件
本宅 京城旭町一丁目電話七四五番
事務所 本町一丁目南部警察署前
辯護士 莊子斌

法の上に眠る者は法律之を保護せずと苟も法の擁護に依り權利の伸張を圖らんとする日韓人士は學識經驗兼備の斯業專門家に依囑して其實行を確保せられよ
營業要目
一、民刑商事非訟事件の鑑定
一、同上事件に關する書類の作成
一、登記申請證明查證願に關する書類の作成
一、會社銀行組合の定款契約書類の立案
一、鑛山土地家屋の製圖測量
一、債權の取立讓受紛議の仲裁
一、個人團体法人の法律顧問
明治大學出身
增本好三郎事務所
京城本町壹丁目（電話六二四番）

提燈製造張替
諸商店廣告用引札調進
其他印物一切御注文に應ず
京城旭町二丁目（不知火旅館前）
森原商店

シンガーミシン
月賦販賣及賃貸・一時拂は更に低減
使用法無料出張教授



京城西小門內
シンガー裁縫機械會社

●動物園大會●
開會 毎日午前八時ヨリ
場所 西小門內新報社隣
本園は世界の珍らしき鳥獸を蒐集し江湖諸彥の觀覽に供するものにて從來の興行見世物類とは其撰を異にし動物研究の材料として實物教育の一端に資せん目的なれば紳士淑女の方々が令息令孃を同伴せられて一日の消閑を試みらるゝには最恰好なる娛樂場なれば陸續御來園の程奉希上候
◉本會の名譽
一、長崎縣知事荒川義太郎氏より感謝狀を贈らる
一、各府縣官公私立學校長より有力なる教育參考品として數千通の謝狀及び證明書を有す
一、鹿兒島步兵第四十五聯隊より感謝狀を贈らる
一、韓國各駐剳軍隊より感謝狀を贈らる
一、日韓各學校より感謝狀を贈らる
四十一年六月
六車萬國動物園

○土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スボルト 各種
京城代理店 歐米雜貨商
京城本町六丁目
岡野商店

西の宮た樂の述懷（十七）

◎見事仇を討たる

サテ其の頃鶴澤にれへらといふ藝妓が居りましたが此れが什麼してナカ／＼もので私の旦那を横取りしやうといふ計畫を起した座敷などで逢ふと鳥渡も旦那の側を放れずイヤにベタ／＼した調子で旦那の機嫌を取つて居りましたが私はソレと知つて居つても「何の彼奴に」といふ氣で見て見ぬふりをして居りましたが其所へ行くと男といふものは仕方のないもので何時とはなしに其のれへらの口車に載せられてトウ／＼妙な關係をつけて仕舞ひましたサア斯うなると悦んだのは鶴澤で女將のれくにさんを始め抱への藝妓一同が氣を揃へてれへらの後押しをして旦那を下へも置かず持てなしますからツヒ足が私の家へ遠のくといふ譯になりました

「何の彼奴に……」とタカを括つて居たスベタ藝妓に大事の旦那を美事横取せられて見ると實の所餘り宜い氣持は致しませんソレも他の家の藝妓なら諦めもいたしませうが妙な工合で表面は兎も角腹の中では始終睨み合つてる鶴澤の藝妓だけに猶更業が煮ねて堪らない此の仕返しは什麼して呉れやうとソレからといふものは朝起きるから夜寢る迄毎日のやうに其の手段を考へ込んで見ましたが別に斯うといふ名案も浮ばず困り切つて居るとヒヨッとした事から仕返しの緒を見付け出しました……といふのは他でもありませんがれへらがゾッコン惚れ拔いて居る男といふのが私の眼に觸れたので此の男を先方より此方が早くものにして仕舞やア自然仇討が出來るといふ考なんでした……此の考へが胸に浮ぶと直ぐ其の運動に取り掛る事にしましたがサテ此の男はといふと東座といふ劇場の座主で……成程れへらが惚れるのも無理はない根が江戸ッ兒で稼業が稼業柄丈に何處やら垢拔けが土臭い土地のれ客の中に雜ると一倍男振りが立ち勝つて見えます私は一度其の男に會つて近付きとなつたを幸ひ或る所へ呼び出して隨分と口說きましたが什麼しても手にたいません始終如才のない事許り申して居りまして全く白とも黑とも目鼻が付かない、デスから私の胸には早く形を付けて仕舞はないとれへらに先を越されて又々恥を晒さにやアならないといふ氣が充分にありますからジレにジレて無暗とせき込みマツやア隨分ダラシのない事迄もして見ましたが併し其の男はソレがチットモ利目がないのでムいます私もホト／＼持て餘しましたからイツソ廢しに仕樣とも思ひましたが此れ迄漕ぎつけて來たものをといふ氣になり其の後ダラ／＼逢つてるうち「チー斯して五月蠅程私に付き纏はれて定めしれ前さんも御迷惑の事でせうが實は鶴澤のれへらに面當がしたい許りで……」と思ひ切つて言ふと「ソリや氣の毒だ」と我を折ました（續）

京城本町壹丁目 シノサキ書店 電話六百四十六番

營業品目
▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆版發賣元
謄寫版
▲諸官衙用達▼

西洋料理開業御披露
▲西洋料理 一皿金拾五錢
▲カーフー 一杯金九錢
▲アイスクリーム 一杯金五錢
▲チョクレツ 同 拾錢
▲コーヒー 金拾錢
▲紅茶 同 五錢
右之通り大々的廉價を以て差上可申候尚此外御好に應じ何品にても調理仕候間何卒陸續御來駕の榮を給はらん事を
京城大和町二丁目二百廿七番戶（本町七丁目横入）
陽氣館

業務擴張
清酒醬油 洋酒類種々 瓶詰類種々 名産罐詰類種々 野菜果實其他 食料品一切
京城本町六丁目郵便局前
根來商店
◎二階貸間あり御望方御は來談あれ

染
◎友仙小紋 更紗黑紋附 其他京染
京都市新シ町錦小路北へ（電話千六百二十一番）
中井染業店
同 分工場 京城大和町二丁目二百五十二番戶

仁川富岡茶舖支店
開店
正銘宇治新茶
京城本町四丁目
青々茶園

內外科 花柳病
共立 漢江病院
龍山一五軒道路大林組南材秋田（木商北隣）
電話架設中ニ就當分四七番兼用
今般院務擴張ノ爲更ニ産科婦人科ヲ增設シ毎日午後ヨリ元福岡醫科大學勤務百合野寅松氏診察ノ下ニ左ノ助産婦ヲ聘シ親切叮嚀ニ一般妊婦ノ需ニ應スヘク候
元帝國醫科大學産科勤務 産婆 山野つま子

●●入院隨意●●
京城本町七丁目
小川病院
電話六五三

日本澤庵 味噌醬油製造 乾物荒物罐詰 銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

會席御料理 仕出し
京城本町八丁目
富士見樓

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭 豆田塊炭 大辻塊炭 三池粉炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭能在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
殺治用として貯炭能在り多少に係はらず御用に應じ可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚木洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦、芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等
三井物産合名會社
京城出張所（電話二十六番）
仁川出張所（電話六十三番）

專用商標 百歲
發賣本舖 香川縣高松市 龜井金光堂謹製

故陸軍々醫總監從三位勳一等男爵醫學博士 松本順先生親傳秘方
▲梅毒▲痳病▲リヨーマチ斯特効藥
定價十日分金五十錢 十四日分九十五錢 廿八日分一圓七十五錢 五十六日分二圓卅五錢
韓國發賣元 釜山長手通金比羅前（電六六一番）日淸館 龜井亮之藥局
地方より爲替若くは郵券にて御注文の節送費不要即時送藥▲はがきにて御注文あらば小包引換送藥す▲
藥種相場表（諸賣藥卸賣歩合表）郵券二錢送付あれ即送す

和韓洋
會席御料理 並に仕出し
通大町和軍司令部
韓洋亭
電話六三九番

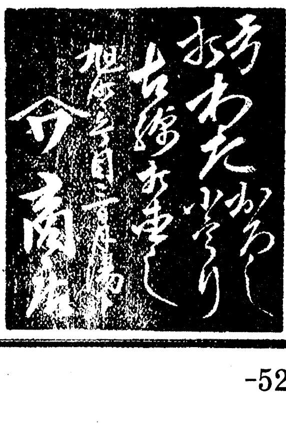
西洋大奇術 自轉車曲乘 支那人曲藝
毎日午後六時開場
京城永樂町三丁目赤門通り
明治齊吉菊一座

新築落成
本院儀豫て新築中の處今般工事落成に付從前の通り叮嚀親切に齒科全般の治療に從事す
●診察時間午前八時より午後五時迄
京城本町二丁目（五十八銀行横隣）
野田齒科專門醫院

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 罫根簿 製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

支店開設
夏物和洋硝子食器洋燈類卸小賣
大阪東區南本町四丁目 駒井商店特約販賣
京城硝子製造所販賣部
京城本町三丁目 林豊商店
京城南大門通り三丁目 林豊支店

日本郵船株式會社 瀛船（仁川）出帆廣告 電話十番
仁川海岸通 貨物及船客取扱店 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 七月五日 後 時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 月 日 後三時出
劍路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 六月十日 後一時出
山東丸 六月廿三日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 七月二日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 後三時出
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行 弘前丸 七月一日
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事



▲料理開店御披露▼
弊店儀都合にて一時閉店致候へども今回從前の通り本日より開店仕候間何卒舊に倍し一層御引立御贔負の程伏て奉願上候謹言
京城西小門通
南方支店

蒲燒
◎鰻昆布卷 ◎鰻八幡卷 ◎會席御料理
◎鰻丼 ◎柳川鍋 ◎すし
京城壽町一丁目
武藏家

御會席料理 壹圓
同 七十五錢
同 五十錢
京城本町九丁目
小松亭

原金旅館
本店 仁川理事廳通（電話三二番）
支店 京城南山町（電話一〇七番）